

ウイルソン病の地理的分布の検討

国立武蔵療養所神経センター

疾病研究第二部 有馬正高

研究目的

ウイルソン病は常染色体劣性遺伝疾患であり、ほぼ全国的に患者が分布し、その頻度も代謝性蓄積症のなかではもっとも多いものとされている。本研究は、本症の頻度に地域差があるか否か、特に重点的に地域調査を実施せねばならないような多発地域が存在するか否かなどを明らかにする準備としての資料を整理することを目的とした。

対象および方法

自験例、および、昭和40年以前に実施した佐野・有馬の小児から成人を対象とした全国調査、荒川、国分、高井らの小児を中心とする調査によって得られた患者の地理的分布を集計し、発病時期、生年、性などにもとづいて重複例を整理した。次いで、各症例の居住地を、都道府県ごとに、市、郡部に分類し、患者、家族数を求めた。

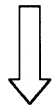
成績(表)

以前集計された死亡例と、その後見出されて生存中の患者が同一家系であることが判明したものが10家系あった。それらを整理し、総数187家系について居住地が得られた。居住地は鹿児島から北海道にまたがり、ほぼ、日本全国にまたがっていたが、現時点でまだ患者の発見の報告が届いていない県は、日本海側、四国、九州などの一部の県および沖縄である。背景人口を考慮し、比較的閉鎖された地区で2家系以上見られた地区は中国および関東の離島にあり、本州、九州、四国、北海道の本島の4地域には多発地区は見出されていない。離島部分の多発地区は遺伝子頻度が高い可能性があるが、その後の発生状況について今後の追跡調査が必要と考えられる。

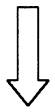
表 集計された wilson 病の地理的分布 (187 家系)

北海道	10	千葉県		北蒲原郡	1	山口県	
小樽市	1	勝浦市	1	北魚沼郡	2	宇部市	1
札幌市	2	成田市	1	中頸城郡	1	豊浦郡	3
滝川市	1	野田市	1	岐阜県		阿武郡	1
夕張市	1	東葛飾郡	2	岐阜市	1	大島郡	2
千歳市	1	群馬県		揖斐郡	1	四国	7
足寄郡	1	前橋市	1	石川県		愛媛県	
苫前郡	1	勢多郡	1	鹿島郡	1	周桑郡	1
檜山郡	1	茨城県		近畿	26	温泉郡	1
北	19	日立市	1	滋賀県		越智郡	1
青森県		古河市	1	甲賀郡	1	香川県	
十和田市	1	笠間市	1	京都府		木田郡	1
岩手県		茨城郡	1	京都市	2	丸亀市	1
釜石市	1	真壁郡	1	大阪府		坂本の	1
陸前高田市	1	神奈川県		大阪市	4	九州	29
紫波郡	1	横浜市	5	東大阪市	1	福岡県	
東磐井郡	1	川崎市	2	柏原市	1	福岡市	2
宮城		三崎甲	1	布施市	1	飯塚市	1
仙台市	1	東	24	茨木市	1	久留米市	1
玉造郡	1	区	17	吹田市	1	大北九州市	1
伊具郡	1	八王子市	1	泉北郡	1	大牟田市	1
秋田県		町田市	1	南河内郡	1	八女郡	1
大館市	1	伊豆七島	5	兵庫		京都郡	1
北秋田郡	1	中	26	氷上郡	1	粕屋郡	1
山形県		静岡		淡路島	1	嘉穂郡	1
新庄市	1	駿東郡	1	三重		田川郡	2
鶴岡市	1	山梨県		津市	1	佐賀県	
天童市	1	甲府市	2	多気郡	2	杵島市	1
福島県		中巨摩郡	1	奈良		東松浦郡	1
東白川郡	1	愛		御所市	1	杵津郡	1
常磐市	1	名古屋市	1	北葛城郡	1	藤	1
南会津郡	1	豊橋市	1	南葛城郡	1	大分	
石川郡	1	岡崎市	2	和歌山		玖珠郡	1
田村郡	1	刈谷市	1	和歌山市	1	鶴崎郡	1
関東(除東京)	30	海部郡	1	中	16	長崎	
栃木県		長野		鳥取		崎	
真岡市	1	諏訪郡	1	東伯郡	1	大村市	1
宇都宮市	1	下伊那郡	1	島根		佐世保市	3
その他	1	上水内郡	1	鹿足郡	1	西彼杵郡	1
埼玉		新潟		岡山		鹿兒島	
浦和市	2	新潟市	2	津山市	1	枕崎市	1
熊谷市	1	加茂市	1	その他の	5	始良郡	1
南埼玉郡	1	糸魚川市	1	広島		名瀬市	1
比企郡	1	新津市	1	三		大島	1
上尾市	1	小千谷市	1	次		熊本	
						八代	1

1970年以降は自験例の追加にとどまるのでかなりの家系の洩れがあると考えられる。
(佐野, 高井ら, および, 自験例)



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



研究目的

ウィルソン病は常染色体劣性遺伝疾患であり、ほぼ全国的に患者が分布し、その頻度も代謝性蓄積症のなかではもっとも多いものとされている。本研究は、本症の頻度に地域差があるか否か、特に重点的に地域調査を実施せねばならないような多発地域が存在するか否かなどを明らかにする準備としての資料を整理することを目的とした。